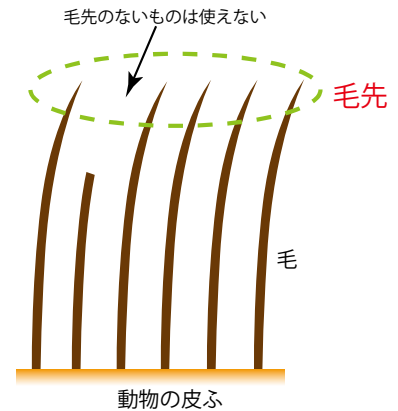


職人の技が光る！「毛先」を活かす筆づくり

通常、動物の毛は切れたりしない限り、先端は細くなつてとがっています。

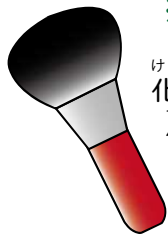
この「毛先」を活かして筆を作ることで、とめ・はね・はらいなどを、きれいでまとまった線にすることができます。このため、毛先がきれいなものだけを選別するのが非常に重要で、高度な技術が必要な作業です。

※筆づくり行程「4 逆毛、すれ毛取り」

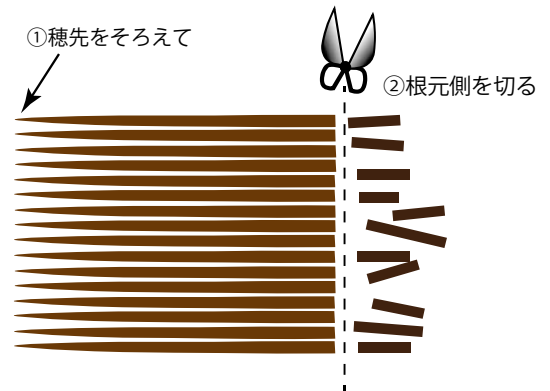


毛先が残った良いものだけを選別した後は、穂首に使う部位ごとに長さを調整します。この時の調整で切るのは根元の部分です。

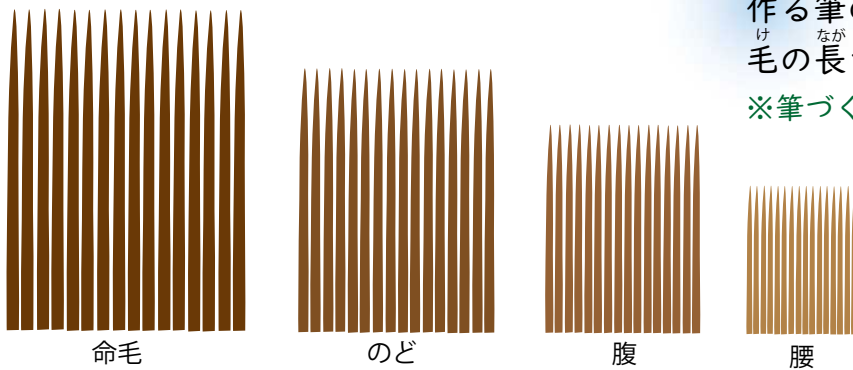
※筆づくり行程「5 寸切り」



化粧筆づくりにも、この「毛先を活かす」技術が使われているので、やさしい肌ざわりと化粧ノリの良さで多くの人に人気があります。



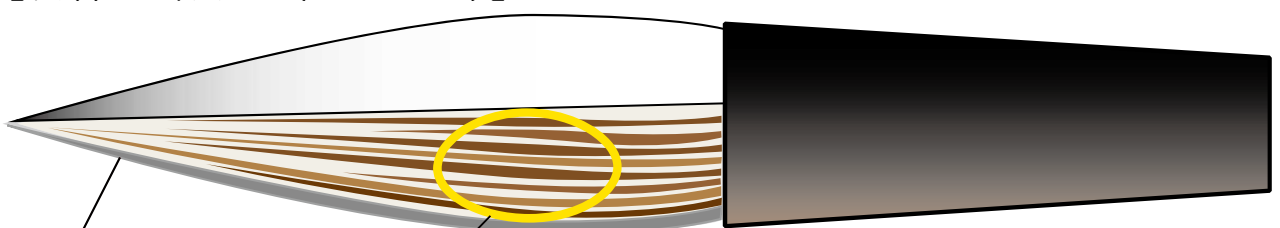
【穂首に使う毛の長さ (イメージ)】



作る筆の用途や、使う毛の種類によって、毛の長さや量を調整して組み合わせます。

※筆づくり行程「6 練り混ぜ」

【穂首の断面図 (イメージ)】



「衣毛」の下には「命毛」や「のど」などとよばれるさまざまな長さの毛が均一に混ぜり合っているので、きれいな円錐形になります。

※筆づくり行程「6 練り混ぜ～8 衣毛巻き」

筆職人の腕の見せどころだりん♪

